



生活支援コーディネーターだより

きずな

生活支援コーディネーターは生活上の「困った」や「社会貢献したい」方の相談に応じています。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、お手伝いをする仕事です。

お問い合わせは、  
高槻市社会福祉協議会まで

TEL : 072-668-6680  
FAX : 072-661-4901



### ごあいさつ

生活支援コーディネーターの広報紙「きずな」は今年度で4年目を迎えました。「きずな」は皆さんに地域活動の魅力を知っていただき、参加することへの関心を持っていただければと思い、作成しています。ぜひ近くのお知り合いの方と「きずな」の情報を共有して下さい。よろしくお願ひいたします。

### ブログを更新しています

私たちの日々の活動やお知らせを高槻市社会福祉協議会のホームページに掲載しています。実際に生活支援コーディネーターが地域に出向いた際に得た情報や研修のお知らせ等を伝えていきます。興味がある方はホームページの生活支援コーディネーターの「ブログ」をご覧ください。

ホームページ <http://www.ta-city-shakyo.com/>  
※ホームページから「ブログ」→「SCのブログ」



春号のテーマは・・・

### 北清水地区ワークショップ 「北清水ふれあいネット あいあい」の経過

昨年4月に紹介した北清水地区のワークショップのその後について、1年経ち変化がありましたので、紹介します

ワークショップとは・・・  
地域住民同士で生活上の困り事・耳寄り情報等を共有し、地域をより良くするため課題解決に向けて話し合う場のことです



北清水ふれあいネットあいあい Q&A



Q.「北清水ふれあいネットあいあい」って何？

A.北清水地区で開催しているワークショップです。住民で集まり「活気のある街、支え合える街」を目指して知恵を出し合い、話し合っています。

Q.これまでどんな話し合いが行われてきたのか？

A.一人ひとりが感じている、地域の困り事や課題等、意見を出し合いました。  
「一人暮らし高齢者が増えている」「困った時にどこに相談したら良いのかわからない」  
「地域のつながりが減っている」といった意見を元に具体的に何をすべきなのか…  
整理をすると、集いの場や趣味活動・何かあった時の相談先といった「情報」を住民が知ることでつながりが生まれるのでは？という話になりました。

では、情報を知ってもらうための取り組みは何をすべきなのか？  
参加者全員で考えていきました。



裏面へ





# 活気のある街、支え合える街を目指して



情報発信について「どのように見せるのか」をテーマに平成31年3月に話し合いをしました。（昨年4月のきずなに掲載）

平成31年4月発行のきずな→



発信方法については3つの案でまとまりました。

- ①ゴミ収集所で知らせたいことを一つだけ貼る
- ②情報は掲示・回覧するだけではなく一戸ずつ一人ずつ渡す
- ③SNS（ホームページやFacebook等）を活用し若い世代に発信

<令和元年5月>

①②③の発信方法について、参加者が興味のある内容に分かれ、話し合いを開始



発信内容について参加者から意見が...

ワークショップ以外でも事前打ち合わせやグループごとの打ち合わせが積極的に行われるように



集いの場や相談先を載せる前に、自分たちがどんな目的で活動をしているのか知ってもらうべきでは

自ら耳寄りな情報を発信する参加者も出てきました



<令和元年8月>  
「大きなゴミステーションに貼りたい」「SNSについて勉強会をしてみても」といった具体的な意見も

この意見をきっかけに、「より良い街を作るための話し合う場」として北清水ふれあいネットあいあいを開催していることを発信することに！



ワークショップ参加団体で地域の情報を貼る看板を作成 →



①ゴミ収集所に情報を掲示する許可がおりた（自治会より）

②福祉だよりで「北清水ふれあいネットあいあい」を紹介し、各戸配布

③参加者個人のホームページで「北清水ふれあいネットあいあい」の概要を載せた

※2月より新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止となっています。再開時期につきましては未定です。（令和2年4月末日現在）

<令和元年11月>  
グループごとに具体的な取組が始まる

## 生活支援コーディネーターより

話し合いを継続することで、参加者同士で地域への思いを共有できるだけでなく、新たなアイデアが生まれることがわかりました。一人ひとりが「自分の地域を良くしたい！」と意識を持って、参加することが大切だと改めて感じています。

皆さんが生活する中で感じる「困り事」や「不安」、「こんな地域にしたい」はもしかすると周りの方も感じているかもしれません。まずはご近所の方と挨拶を交わして、顔馴染みの関係になることから始めてみませんか？話をすることで、地域を良くするためのアイデアが生まれるかもしれません。

「困り事や耳寄り情報を共有する場所がほしい」「話し合いの進め方がわからない」という方、生活支援コーディネーターが話し合いの場を作るお手伝いをしたり、必要な情報を提供します。お気軽にお問合せ下さい。

